

9月の予定

- 2日 ハラスメント講習会
- 4日 アトリエ木下九州決起大会
- 19日 熊本モンゴルプロジェクト
一行来所(～21日)
- 21日 熊本モンゴル展(～23日)
- 〃 福岡県グローバル青年の翼
研修会(～22日)
- 〃 大野城大文字まつり

オイスカ体験

東京農業大学 3年生の大島妃南子(おおしまひなこ)です。福岡県出身で、今回は、オイスカ西日本研修センターに一週間お邪魔させていただきました。海外研修生とともに農作業や農業講義を体験しました。脇山サマーナイトフェスティバルでは、研修生と一緒に猪肉の焼きそばとアジアカレーを作ったり、飛び入りでダンスの演目に参加したりと、初日から夏を満喫すると同時に、研修生と仲を深めることができました。平日にはナスの誘引作業や、ぼかし肥料作りなどの農作業をしました。暑い中、汗だくになりながらの作業は大変でしたが、研修生のみんなはいつもポジティブで、彼らのおかげで疲れが吹き飛びました。午後には日本語での農業講義がある日もあり、身体を動かすだけでなく、どうしてそうなるかを頭で考えながら農業の技術を身につけようとする場面もありました。農業を通じた国際協力や地域創成の活動に興味がある私ですが、今回の訪問を通してオイスカの活動を知ると同時に、自分には何が出来るのか何が向いているのかを考える切っ掛けにもなりました。ありがとうございました。



ご協力ありがとうございます

【8月の寄贈者】(敬称略)

園田法文、原田明、第一交通、小田幸子、ひよどり精肉店、(株)クリスター、丸田廣幸、加藤順一郎 佐々木弘、坂本進

【8月の新入会】(敬称略)

〔個人〕 阪田幸之助

日本語の様子 ⑥

農業研修生 A クラス7名とBクラスの1名が7月に受験した日本語能力試験の結果が出ました！その日の10時にインターネットで発表されると聞いて、おそらく前日からソワソワしていた彼らの結果は見事全員合格でした！声をあげて喜ぶ人もいて、そんなに心配だったんだなと思いました。12月の試験申し込みが始まっているので、早速、次のレベルの模擬試験をしましたが、一人を除いて結果はあまりよくなかったです。この暑さの中、自学自習がはかどっていないのは、わかっていたのですが…特に、文字・語彙・文法項目が力不足のようです。ただ、この暑い中、必死にスタッフの話聞いて、実習を行い、地域の人との交流活動も積極的に頑張ったんでしょう。聴解問題はとてとてもよくできていました。12月の試験に向けて頑張りましょう。

農業研修生 B クラス5名も、12月の試験に向けて、初めての模擬試験を行いました。スローで丁寧な PNG 研修生2名は時間内に問題をこなすことがなかなか難しいので、スピーディーに問題が解けるように、試験対策を行っていきましょう。同時に新しい文法項目も指導し、少しでも日本語で話せることが増えるといいなと思います。先日は、普段は物静かなチベット研修生が、日本の映画の話で盛り上がりました。さむらい映画やハチ公の映画が好きだそうです。日本語で盛り上がる！そんな時間も大切にしていきたいです。(立石考子)

合格しました～🌟

まだまだこれから、がんばれ研修生！



次のSTEPへ！ チャレンジ！！

合格目指してやる気満々

まるごと!西日本

2024年9月号



@OISCA_NTC
Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

オイスカ・ふれあいの翼 2024 マレーシア・サバ州ツアー



毎年恒例の夏の企画、西日本研修センターで研修した OB 達を応援するために海外視察を行っています。今年はマレーシアのサバ州に7名の参加者で訪問しました。8月16日から22日の約1週間の旅、一般会員の参加者及び早良高校から2名も参加で参加者年齢を引き下げてくださいました。行程は盛りだくさんで、マングローブの植林、KPD(州政府農業開発公社)理事長との会談、標高4000mのキナバル山を望むラナウの町で OB のイグナティウス氏と村人とドリアンの植樹。宿泊先のホテルから真正面に臨むキナバル山は壮観でした。翌日はティロン地区にあるオイスカ村(本当です)で OB と合流、村人が大勢集まり歓迎を受けここでも植林しました。夕方にはオイスカ KPD 研修センターに到着。西日本研修センターOB を含め、多くのスタッフと懇談出来ました。そのほか、多くの OB とも面会し彼らに元気を頂きました。ちょっとしたハプニングもありましたが、皆さん元気に帰国することができ、多くの思い出を持ち帰ったことと思います。参加者の皆さんありがとうございました。来年も開催しますが行先は未定です。是非皆さんも来年いかがですか？(廣瀬)

一般のツアーでは体験できない旅をお約束します。



オイスカ熊本県推進協議会「モンゴルツアー」



オイスカ熊本県推進協議会とモンゴル国ウランバートル ソンギノハイラン区との民間型の交流支援は2018年から始まり、6年目を迎えた今年の6月11日(火)から6月16日(日)の日程で「熊本×モンゴルプロジェクト～これまでとこれから」活動報告として「モンゴルツアー」を実施致しました。オイスカ熊本推進協議会丸本会長、石原副会長、山田浩之事務局長含む5名にて現地のオイスカモンゴル及び OB 達との交流を深めました。日本大使館、地商工会議所、行政などを訪問し、今後の交流の更なる促進を互いに確認しました。



なお、今月21日より23日の日程で、「熊本モンゴル展」を開催し、元駐モンゴル特命全権大使清水武則様の講演、バイルサイハン駐日モンゴル国特命全権大使、オイスカ理事長中野悦子様のもと、レセプションを行います。今後も、オイスカ熊本県推進協議会はモンゴル国に対しまして、様々な分野での交流を促進していきます。

(オイスカ熊本県推進協議会 事務局長:山田浩之)

オイスカ佐賀県推進協議会「モンゴルツアー」



8月3日～8日にかけて、オイスカ佐賀県推進協議会が主催する「第26回ラブグリーンの翼・大草原の国モンゴルツアー」が、12名の参加者で実施されました。昨年ドラマで話題となった「VIVANT(ビバン)」のロケ地として、モンゴルのウランバートル市内などが使用された影響もあり、日本からの観光客も多いようで、往復の飛行機、現地のホテルも満席の状態でした。ただし、幸いなことにオイスカのツアーの参加者の中には「VIVANT」を見たという方が殆どおらず、ツアー中に「この場所は VIVANT でこういったシーンで使われたんですよ、堺正人がここに座ったんですよ」と話しても、いまいちピンとこない状況で、VIVANT がらみでは盛り上がりには欠けるツアーでした。

それでも、参加者の皆さんが非常に強力的で、慌ただしいスケジュールでも何の支障もなく実施することが出来ましたし、政府の要人との面会がキャンセルになったりしても、誰一人不満を口にする方もおらず、食事の時間なども楽しく過ごすことが出来て、とても有意義なツアーとなりました。また、2日目からはオイスカの富山県のツアー(25名)も一緒になって参加して、更に盛り上がったツアーとなりました。

今回のツアーで特に印象的だった内容は、初日に体験した遊牧民の生活体験があげられます。これは観光客向けのプログラムなのですが、実際の遊牧民にお世話をしていただき乗馬やラクダに乗る体験、馬頭琴の音楽披露や羊のお肉料理などを振舞っていただき、初日で「これぞモンゴル人の伝統的な生活」を体験できたことで、参加者一同お腹も心も大満足になりました。そして、何といてもツアーの3日目に OB・OG が主体となって実施された植林のプログラムがとても素晴らしかったです。エルデネット市というウランバートル市から北西部に位置するところで植林が開催され、地元の小学生や地元政府の方もたくさん参加していただき、歓迎のセレモニーから歌やダンスの披露など私たちツアーの一行を心から歓迎していただきました。オイスカの OB・OG も一緒に参加して500本の植林をして、みなさん大満足の様子でした。その他にも、シベリア鉄道(寝台列車)での夜間の移動や、新型ゲルキャンプでの宿泊や満点の星空観賞など、楽しさ満載のツアーとなりました。(豊田)



脇山・谷口地区夏祭り

8月14日(水)に脇山・谷口地区の夏祭りにオイスカメンバーも参加しました。夕方7:30から始まり、盆踊りを一緒に踊り、スイカの早食い・ビールの早飲み競争といった色々なゲームに参加。抽選会では、テントや食事券が当たったり、また、地区の方々の中には、浴衣で来られた方もいて、日本の文化にも触れることができ、みんな初めてのことに大喜びで大はしゃぎの笑いの絶えない時間を過ごしました。これから「日本のはじめて」を沢山体験して、日本での経験(宝)にして欲しいです。



西日本研修センターのお盆

新型コロナ以降、夏のホームステイは中止している中、研修生に色々体験させてあげたいと2つの体験を提供しました。8月13日(火)、酷暑の中、研修生全員及びスタッフも引き連れて山口県の秋芳洞に行きました。外では35度以上の暑さ、秋芳洞の中は17度と別天地！研修生達は初めての鍾乳洞で感動の連続でした。またその日は皆さん考えることが同じで、鍾乳洞の中は満員御礼で人並みで大渋滞。研修生にとって貴重な体験となりました。(廣瀬)



8月15日(木)には、研修生一同「アイススケート」体験に行ってきました。今回は九州電力様からのご厚意でチケットを手配していただき、初体験となるアイススケートにチャレンジ！自分のサイズに合ったスケート靴を準備し、その靴をはいてリンクの中へ行ってみると、研修生が想像していた以上に、思うように前へ進めないことに気付かされるのでした。それでも30分程度リンクの周りの壁につかまりながら足を進めていく中で、氷の上に慣れてきた研修生はリンクの中へ、そして慣れることが出来ずに足が痛くなってリタイアする者も数名出ました。

しかし、初めて体験するスケートに、研修生一同楽しい思い出を作ることが出来ました。(豊田)



会員様紹介 税理士法人:近代経営 様

【オイスカに入会したきっかけ】

当法人は、社訓(社の心)として「慈悲、感謝、奉仕の心」を掲げています。実践の場としてボランティアに参加しており、施設の清掃、地域イベントへの参加、地震や水害等の災害時の社員派遣に取り組んできています。その中でオイスカが公的活動の場として国際的にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開活動していることに感動しオイスカへ入会致しました。

【オイスカへのメッセージ】

オイスカの理念のもとに活動され、我々の活動では出来ていない日本から世界へ、これからの担う青少年育成、環境保全に寄与されていることに、会員として誇りに思うとともに当社も貢献されることを後押しできればと思います。

【会社紹介】

税理士法人 近代経営は、1981年に個人事務所スタートし2015年6月に法人化しています。熊本・福岡を中心に活動し「NOと言わない事務所」⇒「Always Say Yes!」の精神で日々研鑽し活動しています。

税理士法人 近代経営

熊本事務所:816-8006 熊本県熊本市北区龍田3丁目32-18

TEL:096-227-6000 FAX:096-337-1400

福岡事務所:812-0024 福岡県福岡市博多区網場町5-28 さかえビル 5F

TEL:092-283-7775 FAX:092-283-7725

URL <https://kinkei-net.com>



森の積み木ひろば

今年度は4か所の放課後児童クラブ様(青葉小、奈多小、百道小、もち浜小)にて、積み木広場を開催いたしました。50名から、多いところで100名の児童の皆様にご参加いただきました。例年どおり、初めに日本の山林の現状や人工林の手入れの必要性についてお話ししました。そして研修生の母国の森や国鳥、有名な逸話などを話してもらいました。今回はジェysonさん(フィリピン)、ウェスリーさん(PNG)、カロさん(フィジー)、ジョナタンさん(マレーシア)が、それぞれの児童クラブ様で話しました。その後、積み木遊びを行いました。まず「好きな動物」というテーマで作品を作ってもらいました。どうやったら表現できるかを考えながら動物を作ってもらいました。毎年、犬やウサギ、キリンといった動物を作る子が多いですが、今回はクワガタや古代の動物など、珍しい動物を作る子もいました。作品づくりの後はチーム戦で積み上げ競争を行いました。協力して高く積み上げますが、ぎりぎりまで倒れてしまい、ほかのチームが逆転で勝つといったドラマチックな場面もありましたが、楽しんでくれていました。最後に積み木のシャワーを行い、全身を使って積み木と触れ合ってもらいました。積み木広場ではただ遊ぶだけでなく、日本の山林の現状や保全活動の必要性に関する啓発普及、積み木遊びを通じた表現力や協調性の向上を大切にしています。また日本の山林だけでなく、研修生の母国における森林環境や動植物について知ってもらい、他国への興味も育てていけたらと思います

積み木のくわがた



フィジーの森に興味津々

研修生と協力してのタワー



手作りプレゼントのお礼

脇山・オイスカ サマーナイトフェスティバルが盛大に開催

8月24日(土)、天気が心配される中ではありましたが、「脇山・オイスカサマーナイトフェスティバル」が、今回は研修センターのグラウンドにて盛大に開催されました。例年は地元の脇山小学校での開催でしたが、建物の塗装工事などでグラウンドが使用できないという事で、今回はセンターでの開催となりました。心配していたお客さんの動員数についても、こちらの予想を上回る人数の方に来場していただき、大いに盛り上がったフェスティバルとなりました。オイスカからはステージでのダンスの披露と、出店では「カレー」と「焼きそば」の販売を行い、どれも大盛況で完売することが出来ました。その他には、地元脇山の皆さんが積極的に参加してステージの出演や出店が行われましたが、どちらのブースも大いに盛り上がり、子ども達にとっても夏休み最後の楽しい思い出を作ることが出来たと思います。



蕎麦の種まき

8月28日(水)、今回オイスカの法人会員として入会していただいた福岡そばの会のメンバーのみなさんと、そばの種まき作業を行いました。今年で2回目となるこの事業は、福岡そばの会が主催となり、オイスカの研修生と一緒に参加して、そばの種まきから始めて、収穫、ソバ打ち体験までさせていただき、美味しいイベントとなっています。10月には花が咲き、11月初旬には収穫が出来るということで、美味しいおそばが食べられることを楽しみにしています。(豊田)



技能実習生企業様配属 ネクスタラッピー(株)様

フィリピンからの技能実習生、メイさんとジェリーさんです。6月に来日しオイスカ関西センターでの入国後講習(日本語・防災・交通安全など)を経て8/3に福岡入り。8/6にネクスタラッピー(株)福岡工場(久山町)に配属され、母国とは異なる環境や食べ物、また言葉の壁といった様々なハードルがある中、これから3年間(最長5年)技能実習生として日本での生活と実習が始まります。会社・職場、先輩実習生の皆さんのサポートがあってこそです。いつもありがとうございます。これからも応援よろしくお願い致します。メイさん! ジェリーさん! がんばれ!!(浦上)



脇山サロンで交流会

8月26日(月)、脇山公民館の事業で高齢者を対象とした交流プログラムの「脇山サロン」が、研修センターで開催されました。当日は、ボランティアの方も含めて20名ほどの参加者がセンターに来て、研修生と一緒に国の紹介や折り紙やお手玉の体験をさせていただきました。中には90歳を超える方も数名いましたが、研修生の国の紹介を真剣に聞いている姿は、まさに年齢を重ねても好奇心を持つことの大切さを学ばせていただきました。2時間弱の時間でしたが、お互いに学び合える良い時間を共有させていただきました。(豊田)



農場の研修風景

太宰府市が今年の夏、40日間連続猛暑日という記録を達成し、過去の記録である群馬県桐生市と並んだというニュースが話題となりました。そして、猛暑日の日数のトータルとしては46日目を迎えたそうです。今年の夏は確かに暑かったですが、去年と比べてどれほど違うのか、体感としては、はっきり言ってよくわかりません。だいたい今年より暑いと毎年のように言っていると思うのですが、農場で作業している私たちにとっては毎年同じようにも感じます。ただ今年の夏についてひとつははっきりと言えることが「雨がなかった」ということです。大宰府市が連続猛暑日になった一つの理由は、雨が降らなかったからだだと思います。もし、1日でも雨が降っていれば、さすがにその日は35度を超えることはなかったと思います。1カ月以上にもわたって雨が降らなかった畑の状態は、土がまさにレンガのような、または砂漠のような状態で野菜も干からびてしまいました。それでも今年の猛暑を乗り越えたオイスカ農園の「イチジク」や「ブドウ」はとても甘くて美味しく出来上がっています。皆さんも是非オイスカの果物を味わってみてください。(豊田)



体験農園だより

8月は、ほぼ雨が降らず、思うように野菜が太りませんでした。例年であれば、豊作で野菜が消費しきれないという声が聞こえますが、今年度は数は採れるが小さいものが多かったように感じます。天候には抗えないなあとしみじみ感じる一か月でした。9月からは令和6年度の秋冬作後期が始まります。昨年は立派な秋冬野菜が収穫できたので、今年度も立派な野菜が採れるように皆様と頑張っていきたいと思います!(飯川)

